



ワンコもニャンコも一緒に楽しく暮らしたい！

ごきげんな居空間づくり —猫の場合—

知らない人が来るとなかなか姿を見せないわが家のニャンコ。苦手なコト・モノに遭遇すると、からだをなめ続けたり攻撃的になったり一日中どこかに身を潜めたりと、案外繊細な一面があります。そんな猫と暮らす空間づくりのキーワードは「移動」。たいていの猫は住まい全体をテリトリーとしています。家族の様子や窓の外をよく見渡



お気に入りの本や小物を飾るギャラリーウォールは収納部に段差をつけることで猫たちの格好の遊び場にもなります。



タテの動線が大好きな猫の居どころ、キャットタワー。空間にユニークな立体感が生まれ、インテリアとしても魅力的です。



こちらから、さまざまなリノベーションの事例をご覧ください。

ただそこにいるだけで心が和む、わが家の犬や猫たち。ペットを飼っているというよりも大切な家族の一員として当たり前前の存在、という感覚のほうが近いのではないのでしょうか。そこで今回は、ペットと人がもつと楽しく快適に時間や空間をシェアできるアイデアをご紹介します。健康面への配慮にも、ご注目ください。

ごきげんな居空間づくり —犬の場合—

家に帰ると、ちぎればかりにしっぽを振って出迎えてくれるワンコ。いかにも愛おしいこの行動、じつは寂しさの裏返しとも言えます。かつて群れで生きていた犬は、つねにリーダーが近くにいないと不安を感じる生き物。また、人間とともに過ごしてきた長い歴史のなかで、「いつも人間のそばにいたい」という習性を持つようになりました。一緒に暮らす家族が大好きだからこそ、留守番はちよつと苦手。無駄吠えやモノを壊すといった問題行動は、ストレスが原因とも考えられます。

そこでご提案したいのが、犬がいつでもごきげんで過ごせる空間づくりです。ポイントが、家族とコミュニケーションを取りやすいリビングなどに、「専用の居どころ」を設けること。本能的に、外敵を気にすることなく落ち着ける自分だけのスペースを確保することが犬にとっては大きな安心感につながります。また、これまでは、犬は穴居生活の名残で狭く暗い場所が好き、と思われてきましたが、最近の研究*で、四方を囲わ

ど、室内で暮らす犬にとっては、あまりありがたみものではありません。おすすめなのは、犬の足をしっかりとグリップする、クッション性の高い床材。お手入れのしやすいものやペットの毛色と同系色のものなど、最近ではバリエーションも豊富です。また、健康と並んで大切なのが、清潔さを保つこと。犬でも猫でも、ちよつと身体がこすれる高さの壁は汚れやすいため、リノベーションの際に、ペット用のクロスに張り替えてはいかがでしょうか。丈夫でメンテナンスもしやすく、一石二鳥です。



タイル状になっている床材なら、汚れた部分だけを丸洗いすることも。家族の素足に心地よいかどうかも大切なポイントです。



傷に強く水拭きや洗剤で手軽にメンテナンスできるクロスやスムーズにシャンプーができる多目的シンクなど、ペットと快適に暮らすためのアイテムを上手に取り入れましょう。



家族の気配を感じられる場所に犬専用スペースを。換気扇を付ければトイレスペースとしても活用できます。フードやグッズの収納と一体化して壁面にまとめることで、インテリアとしても美しく仕上がります。

れた場所より人間の近くを好んで選ぶことが分かってきました。
*帝京科学大学と積水ハウスの共同研究



窓辺は大好き！でも夏の熱中症に気をつけてね

意外と暑がりなワンコ仲間も多いんだよ

ペットにも人にも快適な これからのマンションライフ

暑さに弱い、寒さに弱いなど、犬や猫の種類によって苦手な温度は異なります。留守番中、温度の変化が大きい室内環境の場合にはとくに、何らかの対策をしてあげたいものです。実際に、夏はエアコンの冷房を、冬は暖房をつけたまま外出している、という飼い主さんも多いのではないのでしょうか。ペットにも人にもより快適で、より効率的な冷暖房ができれば、それに越したことはありません。たとえば、家の中で一番熱が逃げやすい窓。今ある窓に内窓をプラスして二重サッシにすれば遮熱・断熱によって冷房効果がより効きやすくなり、省エネ化に防音効果もあるため、音に敏感な犬や猫にとっては、落ち着いて過ごすことのできる環境につながります。

これからますます増える予想される、マンションでのペットライフ。リノベーションを考える上でも、大きなテーマのひとつと言えます。